

最新のビジネスフェアでも  
日吉の技術をご紹介します。

### しがちゅうしん ビジネスマッチングフェア

2012.9.13～9.14

本フェアは、滋賀中央信用金庫と取引のある50企業が参加。日吉の展示ブースでは「衛生検査」・「放射能検査」・「ケイラックス」をメインとした展示内容です。手軽に「見えない汚れ」を測定するATPカウンター体験コーナーは大変好評をいただきました。



環境技術企業として、  
率先して省エネ事業・節電対策に取り組んでいます。

### プラグイン電気自動車導入とスタンド設置

この度、エコカー減税と自動車グリーン税制の対象車であり、ガソリン消費量もCO<sub>2</sub>排出量も低減でき、地球環境に貢献できるエコカー「プリウスプラグインハイブリッド（PHV）」を社用車として導入しました。近距離は電気自動車（EV）として、長距離は燃費の良いハイブリッドカー（HV）として走行できるので、電池切れを気にすることなく安心して乗ることが出来ます。また、充電設備工事も補助金が下り、来客用駐車場に充電スタンドが設置出来ました。



### 節電対策

今夏も電力不足により、7月～9月にかけて、平成22年度実績から15%の節電が必要とされました。日吉では、節電対策として、昨年度末に太陽光発電装置を導入するなど、以下の施策を行い、全社を挙げて、節電に取り組めました。トータルで-12.0%の節電となり、大幅な削減ができました。冬に向けて今後も消費電力の増加が予想されます。引き続き節電に努めるよう日吉全体で取り組んで参ります。

- ソーラーパネルの設置** デマンド値を抑制し、年間10,000kwhの発電。
- LED照明スタンドの設置** 個別のデスクに設置し、利用時だけ点灯。LEDで低消費電力・低発熱。
- 二重窓の設置** 新館3階および別棟に全面設置。遮熱効果が上がり、冬～春にかけて効果を実感。

月	平成22年	平成24年	増減率
7月	92,769	82,952	-10.5%
8月	102,459	86,901	-15.2%
9月	89,091	80,287	-9.9%
合計	284,319	250,140	-12.0%

(単位:kwh)

### NEW ホームページが新しくなりました!

日吉の事業や活動が、より分かりやすく身近に感じていただける内容になりました。日吉からの最新のイベント情報やメッセージを掲載しています。

<http://www.hiyoshi-es.co.jp/> 株式会社 日吉 検索



### 土壌・地下水環境展

2012.10.17～10.19

土壌・地下水浄化や除染に関する技術・製品を一堂に展示。本展示会で日吉は「土壌汚染調査」・「放射能検査」・「水質パック」の3商材を紹介しました。中でも水質パックは大変注目を集めておりました。



### びわ湖環境ビジネスメッセ

2012.10.24～10.26

滋賀県最大の環境展。今回、日吉の展示ブースでは、「放射能検査」・「衛生検査」・「ケイラックス」・「ダニ・アレルゲン検査」を中心に紹介しました。ダニ・アレルゲン検査は今年度から始めた商材になり、今回紹介した中でも来場者の注目を集めていました。



# hot info.vol.3

株式会社 日吉

info@hiyoshi-es.co.jp  
www.hiyoshi-es.co.jp

本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地 TEL.0748-32-5111(代) FAX.0748-32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目1-7 TEL.03-5772-6073(代)

### マレーシア国民大学(UKM大学) 研修生受入れ



7月5日よりマレーシア国民大学(以下は「UKM」という)3年生の研修生2名が2ヶ月間の研修を実施しました。UKMとは共同研究の契約を締結しており、今年で研修生受け入れは2回目になります。日吉で学んだ知識が、マレーシアの環境技術の発展に寄与することを期待します。

#### 研修テーマ

マレーシアの土壌および魚の検体のケイラックスによるダイオキシン及び重金属の調査

### インドスピーチコンテスト 2012 優勝者来訪

日吉とインドのかかわりは、1990年代に始まりました。専門家の派遣やセミナーの開催、研修生の受入れなど様々な形で交流を深めています。そのなかで、1995年より、文化交流の発展と環境破壊への問題提起を目的にスピーチコンテストを毎年開催し、優勝者を日本に招待しています。



#### 研修内容

- 産廃処理施設見学
- 下水処理施設見学
- 個別浄化槽見学
- 水質分析講義、水質検査
- ゴミ収集体験



#### 日本の神社仏閣にも感動!

京都、滋賀観光も招待し、着付け体験など、日本文化を感じて頂きました。日本の文化にとっても興味を持っておられ、研修生、日吉の双方にとって、とても有意義な文化交流となりました。

### 中国清華大学 環境技術共同研究教育センター研修生が来訪



10月30日に、京都大学—清華大学環境技術共同研究教育センターの研修生が、来社されました。2005年より京都大学と清華大学が共同で、京都大学—中国清華大学環境技術共同研究教育センターを設立し、多くの研究・教育活動を活発に実施しておられます。清華大学深圳研究院生ならびに清華大学北京本校の教員及び学生を日本に招聘し、環境技術に関する技術研修を行いたいということで、日吉でも研修生を受け入れることになりました。中国では地下水汚染問題が非常に深刻な問題となっています。学生が研修後に中国ですぐに実践できるよう、水中(河川、飲料水、工場排水)のVOCの分析を研修していただきました。河川水及び水道水のサンプリングから前処理、測定、データ処理にいたる一連の研修を行いました。

日本国内だけでなく、  
国際的に人材を育成する取り組み

先進国のみならず、アジア・アフリカなど今後大きな発展が見込まれる国・地域において、環境問題は大きな課題のひとつです。「環境問題に国境はない」という考えから、日吉では、1989年より数多くの海外研修生を受け入れてきました。これまでに、アジアをはじめ世界19カ国から受け入れてきた研修生は総勢200名を上回ります。その多くが環境エキスパートとして各国の環境最前線で活躍しています。

# 日本の学生と海外をつなぐ窓口

## 日吉海外インターン生と京大交流発表会 2012.7.10

京都大学大学院工学研究科流域環境質総合センターで、日吉海外インターン研修生と京大大学生との交流会が昨年に引き続き第2回目として開催されました。

日吉の海外研修生(マレーシアUKM大学:日吉のインターン研修生)と京大大学生のプレゼン発表(研究内容や各国の文化の紹介)に加え、各々の将来・夢について語り合い、実験室の見学を行いました。海外研修生が日本の研究施設の見学に目を輝かせていたのが印象的です。

懇親会では積極的な国際交流が行われました。研修生、京大生双方にとって同世代の学生と交流することは、いい刺激となったようです。参加者の方々に、日吉の国際化の取組みと日本社会にとっての国際化の必要性を伝えられたと思います。



## intern 環境技術を身近に感じてもらうため、各種インターンシップを受け入れています。

- 滋賀県立八幡工業高校
- 長浜バイオ大学
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 滋賀県立彦根工業高校
- 龍谷大学
- 滋賀県立大学



**声** 仕事内容によっては環境計量士など資格がないとできない仕事があるとお聞きし、在学中に自分の強みとして資格をとりたいたいという意識が強くなりました。自分なりに動くイメージと環境分析業界のイメージができました。(長浜バイオ大学/インターン生)

# 環境意識を高めるため 地域での活動を積極的に行っています

## 近江八幡市環境少年団 環境学習 2012.8.4



### 「身近なもので科学に触れ合おう」

8月4日に、近江八幡市環境少年団の研修会が、日吉で開催されました。この研修会は、環境や科学について触れ合うことを目的として、毎年日吉で開催されているものです。今年は、「身近なもので科学に触れ合おう」をテーマに、プロッコリーからのDNA抽出と加工食品からの着色料抽出を体験してもらいました。

DNAの実験では、食塩や台所洗剤、エタノールでDNAを抽出しました。着色料の実験では、羊毛や酢などを使用しました。身近なものを使って実験を行ったため子どもたちが大変興味を持って参加してもらえたようです。

昨今、子供たちの科学離れが問題となっていますが、今回の研修が、子供たちが科学に関心を持つきっかけになればと思います。

## 小学校教諭の職場体験研修 ゴミ収集体験 2012.8.6

例年、日吉では、近江八幡市内の小学校教諭の職場体験研修を受入れ、ゴミ収集体験を実施しています。教諭5年経験者研修の一環として、民間企業での体験研修をとおして、教員としての知見を広めるとともに、社会の構成員としての視野の拡大と自覚の高揚をはかり、教員の資質向上を目指して行われます。夏の暑さの中でのゴミ収集を通じ、厳しさ、苦勞、分別意識等、実務をすることにより肌で感じ取り、次世代の子供たちへの生きた教育活動へ活かされることを願います。

**声** 「混ぜればゴミ、分ければ資源」の言葉とおり、各個人が意識を高めていくことが大切だと思います。少しの手間で、ゴミが資源に変わることを意識していくことが必要だと感じました。今回様々なゴミや資源の回収を体験させていただいたことで、今までよりも内容に濃いことを、回収してくださっている人たちの思いをしっかりと伝えることができると思います。(安土小学校/教諭)



## 八幡堀 ほっとタウンクリーン作戦 2012.9.6



観光客を温かく心地よくお迎えすることを目的として近江八幡観光物産協会と近江八幡ボランティアガイド協会(堀川達夫会長)の共催で、毎年春と秋に、日牟礼神社付近の八幡堀を地元の企業や住民たちで清掃作業をしています。

今回で第43回になる清掃作業ですが、地元の住民の方や地元の企業の方などで、100人を越える参加者での実施となりました。住民の方や企業の方の地元に対する気持ちはすごいものだと感じました。私たちが地元企業として参加させていただきましたが、少しでも近江八幡のためになればという気持ちで清掃除草作業に当りました。

# 時代の変化に即した新技術を常に開発し続ける日吉

## 環境化学討論会にて口頭発表 (日本環境化学会主催) 2012.7.11~7.13

発表テーマ  
「新規水道水質管理目標設定項目検討対象農薬の検査法開発と環境存在実態」



愛媛県松山市で開催された第21回環境化学討論会(日本環境化学会主催)に日吉社員が出席し、口頭発表を行いました。

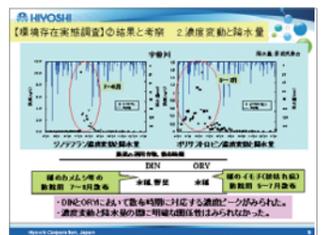
2013年4月1日の改正に向けて、現在厚生労働省において実施されている水道水中農薬の管理方法の大幅な見直しの中で、新しく管理対象項目となる9種類の農薬の標準検査法を開発。その検査法により、琵琶湖集水域内の瀬田川と宇曾川、および神奈川県内を流れる鶴見川のモニタリング調査を実施。これら9農薬の環境存在実態を把握しました。

\*本研究は、滋賀県中小企業新技術開発プロジェクトの補助を受託しています。

農薬名	瀬田川(琵琶湖流出) 2011/4月~2012/1月			宇曾川(琵琶湖流入) 2011/4月~2012/1月			鶴見川(横浜市) 2011/4月~10月			水質汚濁に係る登録保留基準値(μg/L)
	検出数	検出率(%)	最大濃度(μg/L)	検出数	検出率(%)	最大濃度(μg/L)	検出数	検出率(%)	最大濃度(μg/L)	
アセタミプリド	0/30	0	-	1/54	1.9	0.005	40/115	35	2.41	180
イミダクロプリド	0/30	0	-	10/54	19	0.013	58/115	50	3.07	150
クロチアニジン	13/30	20	0.015	38/54	70	0.208	36/115	31	3.17	250
ジノテフラン	6/30	43	0.024	54/54	100	10.2	62/115	54	1.69	580
チアクロプリド	3/30	10	0.004	1/54	1.9	0.006	54/115	47	1.82	300
チアメトキサム	0/30	0	-	27/54	50	0.066	26/115	23	1.86	47
オリサストロビン	30/30	100	0.268	54/54	100	1.53	-	-	-	130
チアジニル	0/30	0	-	0/54	0	-	-	-	-	100
フェントラザミド	5/30	17	0.037	27/54	50	0.400	-	-	-	13

### まとめ

- 琵琶湖集水域河川ではジノテフランが多く検出され、鶴見川ではアセタミプリド、イミダクロプリド、チアクロプリド、チアメトキサムが多く検出された。これは耕地面積あたり出荷量に対応していた。
- 宇曾川のジノテフランとオリサストロビンの濃度変動では、散布時期に対応する濃度ピークがみられた。



## 社長講演会

### 水をめぐるこれからの社会の姿を提案しています。

平成24年9月28日  
立命館大学琵琶湖Σ研究センター第3回シンポジウム  
「琵琶湖環境創造のための産学連携～水環境研究とビジネス～」

平成24年10月24日  
しが水環境ビジネスセミナー  
「世界の水ビジネスと先行事例に学ぶ」



- ◇化学分析技能士知事表彰 (環境分析係 林 芳和)
- ◇滋賀県職業能力協会会長表彰 (食品衛生係 八木 俊輔)



平成24年度、日吉の社員が「化学分析技能士」の試験において知事表彰・協会会長表彰をうけることができました。日吉では、「技術立社・社会立社」を社是とし、日々技術の向上に努めています。日吉は技能士の試験を通じ、日吉の技術水準の維持と継承を図っています。